

諮問事項「保育施設等における健康管理」について

答 申

令和2年3月

兵庫県医師会
乳幼児保健委員会

兵庫県医師会乳幼児保健委員会（平成30・31年度）

委員長	藤田 位（藤田小児科医院）
副委員長	谷口 賢蔵（谷口医院）
委員	太田 國隆（甲南医療センター）
	渡辺 志伸（渡辺内科小児科クリニック）
	相原 浩輝（あいはら子どもクリニック）
	山本 千尋（山城小児科医院）
	每原 敏郎（兵庫県立尼崎総合医療センター）
	山崎 剛（山崎こどもクリニック）
	野中 路子（兵庫県立こども発達支援センター附属診療所）
	岡 勝巳（岡こどもクリニック）
	村瀬 真紀（むらせ赤ちゃんこどもクリニック）

（担当役員）

副会長	足立 光平
常任理事	杉原加寿子
理事	大門美智子
	椿田 重彦
	瓦井 博子

諮問事項「保育施設等における健康管理」について

答 申

要 旨

平成30年に保育所保育指針が改正され、保育施設における嘱託医（園医）と保育士をはじめとする多職種との連携はますます重要となってきた。今年度、兵庫県医師会乳幼児保健委員会は、兵庫県下の保育施設1,237か所並びに兵庫県医師会に所属する内科系嘱託医1,067人を対象にアンケートを配布し、嘱託医（園医）と保育施設の連携をより密にするための医師会の具体的施策について検討した。

保育施設への嘱託医並びに看護師に関するアンケートのまとめ

調査の対象になった嘱託医は276名であった。

嘱託医の内訳は小児科47％・内科39％で、出務回数は2回／年が一番多かった。

嘱託医配置は医師会からの紹介が26％で、医師への直接依頼は34％だった。依頼業務は、入所時の健康診断、定期健診、救急・急病時や感染症発生時の相談が多かった。看護師を配置している施設は15.6％であった。今後嘱託医に期待する業務として、発達障害児への対応についてのアドバイス・親への健康教育などが挙げられていた。また嘱託医は医師会から紹介してほしいという要望が多かった。行政への希望として一番多かったのは看護師の配置であった。

嘱託医への保育施設出務に関するアンケートのまとめ

回答があった276名を調査の対象とした。

保育所への出務回数は2回／年がほとんどであったが、20回以上の出務をしている嘱託医も見られた。保育施設で今後行いたいこととして、病気や事故予防についての助言指導、親への健康教育、健康管理・環境衛生管理についての助言指導、救急・急病時、感染症発生時の相談であった。またもっと保育施設に関わりたいがどうやればいいのかわからないという意見も見られた。

まとめ

健康教育やヘルスプロモーション指導など、お互いが必要と考えているが相手に伝わっていないケースが見られた。またその報酬にみあう業務を嘱託医は行っていないと保育施設は考えている一方、嘱託医は保育施設との関係は良好で特に問題がないと認識していることもわかった。今後、児童の健康の増進のためにより強い連携が求められることより、次のことを医師会へ提言する。

【地域医師会への提言】

- 1) 保育施設への嘱託医の配置は、地域医師会が取りまとめること
- 2) 研修等や勉強会などで、日頃より嘱託医のみならず医師会は地域の保育協会と連携し、互い

の顔が見える関係をつくること

【兵庫県医師会への提言】

- 1) 保育施設において必要な対応が可能となるような、下記の内容の嘱託医への研修会を開催すること
 - i. 出務に関すること
 - ii. 健診に関すること
 - iii. 発達障害へのアドバイス
 - iv. 園内事故に対する対応
 - v. 園内感染症対策
 - vi. その他、保育における医療に関する諸問題について
- 2) 保育施設に看護師を配置することを行政へ提言すること

本文

はじめに

平成30年度より保育所保育指針が新たに改正され、保育施設において嘱託医（園医）と保育士をはじめとする多職種との連携がますます重要となってきている。しかしながら、以前からくすぶっていた医師（嘱託医）から保育施設への不満や、保育施設からの医師（嘱託医）への不満は絶えることがないのが現状である。

今年度、兵庫県医師会乳幼児保健委員会では、保育施設の嘱託医（園医）並びに保育施設に対しアンケート調査を別途実施し、嘱託医（園医）と保育施設の連携を密にするための今後の医師会として行うべき具体的施策について検討した。

1. 保育施設への嘱託医並びに看護師に関するアンケート調査

（添付資料1を参照）

はじめに

保育施設において嘱託医（園医）と保育施設勤務の多職種との連携が重要となっている現在、これらの連携をより密にするための方策について検討するため、保育施設における嘱託医並びに看護師に関する職務について下記の施設に質問用紙（添付資料2）を配布した。

兵庫県内保育施設

公立・私立幼稚園	300件（抽出）
認可外保育所	443件
認可保育所・こども園	494件
計	1,237件

結果

666施設より FAX による回答を得た。（回収率54%）

嘱託医の内訳は小児科47.1%、内科39%で、年間の出務回数は2回が66.1%と一番多かった。また嘱託医を医師会から紹介を受けた施設は全体の26.1%、保育施設が独自で医師に依頼しているのが34%であった。嘱託医との契約は、嘱託医のみと交わしている施設は47.9%、医師会も交え三者契約をしているものは6.5%で、交わしていないものも10.2%あった。嘱託医に依頼している業務としては、「入所後の定期健診」は全体の90.1%の施設で、「救急・急病時や感染症発生時の相談」は59.2%、「入所時の健康診断」は37.2%、「親への健康教育」は4.2%であった。「看護師を配置している施設」は全体の15.6%で、そのうち常駐68.3%、週に数日が25%であった。保育施設での与薬については、与薬している施設は77.9%で、そのうち医師からの指示書が必要な施設は79.4%だった。食物アレルギーに対応可能としている施設は99.4%で、エピペン講習会の受講も48.8%で行われていた。

保育施設からの嘱託医への要望としてあげられたのは、報酬が高すぎる・発達障害児への対応についてのアドバイスが欲しい・親への健康教育を望むなどで、行政への要望としては、医師会との連携を望む声や看護師の配置への要望などがあった。

考 察

保育施設の中には嘱託医との間にハードルを感じている施設も少なからずあり、今後の嘱託医並びに医師会の関与の在り方を考える必要があると思われた。

2. 嘱託医への保育施設出務に関するアンケート調査

(添付資料3参照)

はじめに

保育施設嘱託医と保育施設に勤める多職種との連携について実態を把握し、保育施設における健康管理について医師会がどう関わればよいのかを検討するため、兵庫県医師会に所属する内科系医師に質問用紙（添付資料4）を配布した。配布先は県内の小児科標榜医667件（全数）、内科標榜医400件（抽出）合わせて1,067医療機関である。

結 果

482医療機関から FAX による回答を得た（回収率は45%）。そのうち保育施設の嘱託医は276医療機関であった。出務している保育施設の種別（認定こども園、認可保育所、小規模保育所、認可外保育所、幼稚園）に、担当している施設数やそれぞれの年間出務回数、業務内容などに関する質問をし、その回答を検討した。

すべての保育施設において出務回数は年2回と回答した嘱託医がほとんどであったが、20回以上の出務をしている嘱託医も見られた。医療的ケア児を扱っている保育施設の嘱託医は出務回数が多い傾向があった。現在行っている以上の業務をしたいと考えている嘱託医は具体的には、「病気や事故予防についての助言指導」、「親への健康教育」、「健康管理・環境衛生管理についての助言指導」、「救急、急病時や感染症発生時の相談」であった。一方でもっと保育施設に関わりたいがどうやればいいのかわからないという意見も見られた。

考 察

今後、わが国では、保育児童の増加とともに、嘱託医は健診業務や衛生指導以外にも、地域の子どもの保育、保健の専門家として、児童のヘルスプロモーション指導などを行うことが期待されている。嘱託医も保育施設もお互いに相談しやすい関係を構築していく努力が必要で、気軽に声かけできる関係を作ってこそ指導も容易になる。日頃より嘱託医と地域の保育施設や、子育てに関わるスタッフとの顔の見える関係作りが望まれる。

まとめ

以上2件のアンケート結果から、嘱託医並びに保育施設のお互いが健康教育やヘルスプロモーション指導などが必要と考えているが相手に十分に伝わっていないこと、またその報酬にみあう活動を嘱託医は十分に行っていないと感じている保育施設が多いことがわかった。嘱託医と保育施設の関係については、医療機関側は、おおむね良好と認識していたが、業務内容の多くは年2回の健診業務のみで、保育施設との認識にずれがあると考えられた。これらは互いのコミュニケーション不足が起源となっていることが原因であると考えられる。これらを踏まえ次のことを医師会へ提言する。

【地域医師会への提言】

- 1) 保育施設への嘱託医の配置は、地域医師会が取りまとめること
- 2) 研修等や勉強会などで、日頃より嘱託医のみならず医師会は地域の保育協会と連携し、お互いの顔が見える関係をつくること

【兵庫県医師会への提言】

- 1) 保育施設において必要な対応が可能となるような、下記の内容の嘱託医への研修会を開催する事
 - i. 出務に関する事
 - ii. 健診に関する事
 - iii. 発達障害へのアドバイス
 - iv. 園内事故に対する対応
 - v. 園内感染症対策
 - vi. その他、保育における医療に関する諸問題について
- 2) 保育施設に看護師を配置することの行政への提言

以上

報告 1 嘱託医並びに看護師に関する保育施設へのアンケート調査

はじめに

平成30年に保育所保育指針が改正され、保育施設における嘱託医・園医（以後嘱託医）と保育士をはじめとする多職種との連携はますます重要となってきている。今年度、兵庫県医師会乳幼児保健委員会は、保育施設嘱託医と保育施設に勤める多職種との連携についての実態を把握し、保育施設における児童の健康増進のために医師会がどう関わればよいのかを検討するため兵庫県の保育施設を対象にアンケート調査したので報告する。

対象及び方法

対象は兵庫県の保育施設1,237か所で、その内訳は下記のとおりである。

公立・私立幼稚園	300件（抽出）
認可外保育所	443件
認可保育所・こども園	494件

兵庫県医師会より保育施設長に質問用紙（添付資料2）を配布し、FAXにて回答していただいた。

結 果

666施設より回答を得た（回収率は53.8%）。兵庫県のほぼすべての地域から回答を得た。

（表 1-1）

1) 保育施設について

(1) 在籍児童数について（表 1-2）

分布については表のごとくで施設の90%以上が200人までの保育を行っていた。

(2) 保育施設の種類（表 1-3）

認定こども園153施設23%、認可保育所204施設30.6%、小規模保育所6施設0.9%、認可保育所152施設22.8%、幼稚園124施設18.6%から回答をいただいた。

2) 嘱託医について（表 1-4、表 1-5）

(1) 嘱託医の専門科並びに出務回数

小児科47.1%、内科39%で、年間の出務回数は表のごとく1回から20回以上まで分布していたが、多くは2回であり平均は2.3日であった。

(2) 嘱託医の紹介に関する医師会の関与（表 1-6）

医師会から紹介された施設は26.1%、独自で探されたのは34.8%であった。

(3) 嘱託医との契約 (表 1-7)

嘱託医とのみ契約されているのが47.9%、特に交わしていないのが10.2%であった。

(4) 委託業務 (表 1-8)

嘱託医に依頼している業務で1番多かったのが、入所後の定期健康診断90.1%、次いで救急・急病時や感染症発生時の相談59.2%、入所時の健康診断37.2%、健康管理・環境衛生管理についての助言・指導33.3%、病気や事故予防についての助言・指導28.2%と続き、親への健康教育は4.2%であった。

(5) 救急・急病時の対応 (表 1-9)

救急・急病時の嘱託医の対応について、電話で助言してくれるのが64.3%と一番多く、診療所に連れてくるようにと指示されるのが32.6%、保育施設に来所してくれると回答されたのが5.6%であった。一方、対応してもらえないと回答された施設が27施設4.1%あった。

(6) 嘱託医への要望 (自由記載)

主なものは次のとおりである。

- ①けがの時など受診の必要性について相談したい
- ②感染症に対する心構えや対処について等、保護者に対して健康教育をしてほしい
- ③発達相談をしてほしい
- ④定期的に保育士の相談にのってほしい
- ⑤希望する保護者の相談にのってほしい

などである。

3) 看護師の配置について

(1) 看護師の配置 (表 1-10)

看護師がいると回答されたのが104施設15.6%であった。

(2) 出務回数 (表 1-11)

看護師がいると回答された104施設のうち、常駐している施設は71か所68.3%、週に数回が26か所25%、毎日巡回していると回答されたのは1か所であった。

(3) 依頼業務 (表 1-12)

看護師に依頼している業務は、救急・急病時対応92.3%、軽微な疾患・けがへの対応91.3%、子どもの健康観察86.5%、感染症発生時の相談85.6%、病気や事故の予防についての助言79.8%、保護者への健康教育45.2%であった。

4) 子どもの健康管理と家庭との連携について

(1) 家庭における子どもの健康状態の把握 (表 1-13)

毎朝、保護者から直接聞き取っている施設82.9%、連絡手帳に記載してもらっているが81.8%であった。(複数回答あり)

(2) 軽い異常があった時の対応 (表 1-14)

健康観察で軽い異常があった時、保護者が迎えに来た時にそのことを伝えると回答された

のが55.6%、すぐに保護者に連絡されているのは42.9%で、そのまま様子を見ていると回答されたのは45.8%であった。(複数回答あり)

(3) 急病時の対応 (表 1-15)

保護者にすぐに迎えに来るようにと連絡しているのが57.2%、保護者に連絡するが、その後の対応を相談しているのが51.2%であった。

(4) 与薬への対応 (表 1-16、表 1-17、表 1-18)

医師から子どもに処方された薬の投薬については、保育施設で使用していると回答されたのは77.9%であった。そのうち薬の種類としては飲み薬90.4%、塗り薬83.4%、坐薬は30.3%であった。医師からの指示書を必要としている施設は79.4%であった。

(5) 食物アレルギーへの対応 (表 1-19、表 1-20)

食物アレルギーに対応できる施設は94.4%であった。そのうち食事制限が可能と回答された施設は81.4%であった。またエピペン講習を受講されているのは48.8%であった。

5) 地域医療機関・行政などとの連携について

(1) 急病時における医療機関との連携 (表 1-21)

急病時に相談できる嘱託医以外の医療機関があるのは46.1%しかなかった。

(2) 医療機関の紹介 (表 1-22)

急病時に相談できる医療機関を地域の医師会が前もって紹介する制度があれば利用したいと回答されたのは88.4%あった。

(3) 健康管理について嘱託医や地域医師会への希望 (自由記載)

次のような意見をいただいた。

- ①感染の心配のある病気について医師により対応がちがうので統一してほしい
- ②嘱託医を探すにあたり、医師会が関与しないといわれ本当に困った。行政とも連絡を取ってほしい
- ③地域の医師会と交流し直接話し合う機会が欲しい
- ④季節ごとの地域の医療情報が欲しい
- ⑤特別支援の必要の有無などの意見が欲しい
- ⑥嘱託医の報酬が高すぎる

(4) 健康管理について行政への要望 (自由記載)

主な意見を列挙する。

- ①看護師の配置
- ②養護教諭の配置
- ③保護者並びに保育施設に対し子どもの病気について配慮することの周知
- ④医師会とも連携して子どもの急病時の対応などの研修会の開催
- ⑤病児保育の充実

考 察

現在わが国は少子化社会を迎えているが、今後働き方改革などにより保育児童の増加が見込まれる。保育施設の嘱託医は健診業務や衛生指導以外にも、地域の子どもの保育・保健の専門家として児童のヘルスプロモーション指導などを行うことが期待されているが、今回のアンケートでは保育施設から嘱託医への要望が十分届いていないことが分かった。また、嘱託医の配置は保育施設にとって必須の条件であるが、医師会の協力が得られず苦勞されていることもわかった。また保育施設が児童の健康増進を推進するうえで行政の理解が大切で、その両者の間に立つことができるのは医師会しかなく、その役割は大きい。以上より乳幼児保健委員会は下記のことを医師会に提案する。

- (1) 保育施設への嘱託医の配置は、地域医師会が取りまとめること
- (2) 研修等や勉強会などで、日頃より嘱託医のみならず医師会は地域の保育協会とも連携し、互いの顔が見える関係をつくること
- (3) 保育施設に看護師配置することを行政へ提言すること

報告 1 保育所への嘱託医並びに看護師に関する
保育施設へのアンケート用紙（保育所へのアンケート）

兵医発第 1020 号

平成 30 年 12 月 吉日

兵庫県下保育施設の長 様

兵庫県医師会会長 空地 顕一

兵庫県医師会乳幼児保健委員会委員長 藤田 位

「保育施設等における健康管理」についてのアンケート調査のお願い

平素、本会会務に種々ご高配賜り、誠に有難うございます。

さて、平成 30 年度より保育所保健指針も新たに改正され、保育施設において嘱託医（園医）をはじめ多職種との連携がますます重要となってきています。

兵庫県医師会乳幼児保健委員会では、保育施設と嘱託医（園医）の連携を密にするために今後医師会として何をすべきか、また何が必要なのかについて検討を行うため標記アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙中恐縮に存じますが、回答用紙全 2 ページにご回答の上、兵庫県医師会業務 1 課乳幼児保健係あて 12 月 25 日(火)までに FAX(078-231-8112)にてご回報のほどお願いいたします。

なお、本アンケート調査結果は、施設名、個人名、回答者を特定できない形で本会のホームページに掲載させていただく予定です。

問合せ先

兵庫県医師会業務 1 課乳幼児保健係

神戸市中央区磯上通 6-1-11

電話 078-231-4114

FAX 078-231-8112

担当 (影山・仲田・和田)

「保育施設等における健康管理」について

* 以下の質問に○印もしくは記入をお願いします。(平成30年9月1日の時点をお願いします)

1. 所在地について別紙より番号を記入してください。()
2. 在籍児数について別紙より番号を記入してください。()
3. 貴施設はどれに該当しますか。別紙より番号を記入してください。()
4. 貴施設の嘱託医(園医)についてお聞きします
 - (1) 嘱託医(園医)の専門科を別紙より番号を記入してください。()
該当項目がなければこちらに記載して下さい。()
 - (2) 年間の出務回数は? ()回/年
 - (3) 嘱託医(園医)はどのように探されましたか
a. 地元の医師会から紹介された b. 独自に探した c. その他
 - (4) 契約はされていますか
a. 嘱託医とのみ交わしている b. 医師会もまじえ交わしている
c. 医師会と嘱託医の三者で交わしている d. 特に交わしていない
e. その他 ()
 - (5) 嘱託医(園医)に依頼している業務について(複数回答可)
a. 入所(園)時の健康診断 b. 入所(園)後の定期健康診断
c. 救急・急病時や感染症発生時の相談
d. 保育施設での健康管理・環境衛生管理についての助言・指導
e. 病気や事故の予防についての助言・指導 f. 親への健康教育
g. その他 ()
 - (6) 救急・急病時の嘱託医の対応(複数回答可)
a. 電話で助言してくれる b. 保育施設に来てくれる
c. 診療所につれてくるように指示される d. 対応してもらえない
e. その他 ()
 - (7) 嘱託医(園医)への要望があればお書きください
5. 看護師についてお聞きします。
 - (1) 保育施設に看護師(准看護師、保健師を含む)がいますか?
a. いる b. いない
a. いる の場合⇒ 次の(2)(3)にもお答えください。
b. いない の場合⇒ 6. 子どもの健康管理について・・に進んでください。
 - (2) 看護師がいる場合、出務回数についてお聞きします。
a. 常駐している b. 週に()日いる c. 毎日巡回している
d. 週に()回巡回している e. その他 ()

(3) 看護師に依頼している業務について (複数回答可)

- a. 子どもの健康観察
- b. 軽微な疾患・けがへの対応
- c. 感染症発生時の相談
- d. 病気や事故の予防についての助言
- e. 救急・急病時の対応
- f. 保護者への健康教育
- g. その他 ()

6. 子どもの健康管理についての家庭との連携についてお聞きします

(1) 子どもの健康状態について (複数回答可)

- a. 毎朝、保護者から直接話を聞く
- b. 連絡手帳などを書いてきてもらう
- c. その他 ()

(2) 健康観察で軽い異常があった場合どうしていますか?

- a. すぐに保護者に連絡する
- b. そのまま様子を見る
- c. 保護者が迎えにきた時にそのことを伝える
- d. 連絡帳等を書く

(3) 急病時の対応について

- a. 保護者にすぐに迎えに来るように連絡する
- b. 保護者に連絡するが、その後の対応は相談する (保育施設で様子を見る、保護者が迎えに来る、保育士が医療機関につれて行くなど)
- c. その他 ()

(4) 子どもに医師から処方されている薬 (飲み薬、塗り薬、坐薬) がある場合について

- a. 保育施設では使用しない
- b. 保育施設でも使用している
 - ①使用可の薬は? (飲み薬、塗り薬、坐薬)
 - ②その場合に指示書が (必要、不要)
- c. その他 ()

(5) 食物アレルギーの児童に対応できますか?

- a. 対応できない
- b. 対応している → ①食事制限が可能 ②エピペン講習を受けている
- ③その他 ()

7. 地域医療機関・行政などとの連携について

(1) 急病時に相談できる嘱託医以外の医療機関がありますか

- a. ある
- b. ない

(2) 急病時に相談する医療機関を地域の医師会が前もって紹介してくれる制度があれば

- a. 利用する
- b. 利用しない

(3) 保育施設における健康管理について嘱託医 (園医)・地域の医師会への希望があればお書き下さい。

(4) 保育施設における健康管理について行政への要望があれば書いてください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。FAX送信をお願いいたします。

1. 2. 3. 4 (1) の質問については以下から選択してください。

1. 所在地について

1	神戸市	9	明石市	17	高砂市	25	佐用郡	33	丹波市
2	尼崎市	10	三木市	18	姫路市	26	宍粟市	34	洲本市
3	伊丹市	11	小野市	19	神崎郡	27	朝来市	35	淡路市
4	川西市	12	加東市	20	たつの市	28	養父市	36	南あわじ市
5	川辺郡	13	加西市	21	揖保郡	29	豊岡市		
6	宝塚市	14	西脇市	22	相生市	30	美方郡		
7	西宮市	15	多可郡	23	赤穂市	31	三田市		
8	芦屋市	16	加古川	24	赤穂郡	32	篠山市		

2. 在籍児童数について

- ①50人以下 ②51～100人 ③101～200人
④201～300人 ⑤300人以上

3. 貴施設について

- a. 認定こども園 b. 認可保育所 c. 小規模保育所 d. 認可外保育所
e. 幼稚園

※該当項目がなければ、貴施設について回答用紙にお書きください

4. (1) 嘱託医(園医)の専門科について

- ①小児科 ②内科 ③その他

表1-1. 所在地について

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
神戸市	68	10.2%
明石市	67	10.1%
尼崎市	50	7.5%
加古川	48	7.2%
姫路市	43	6.5%
西宮市	40	6.0%
宝塚市	35	5.3%
たつの市	24	3.6%
伊丹市	21	3.2%
川西市	20	3.0%
三田市	20	3.0%
豊岡市	18	2.7%
淡路市	16	2.4%
芦屋市	14	2.1%
三木市	14	2.1%
高砂市	14	2.1%
南あわじ市	14	2.1%
小野市	12	1.8%
丹波市	13	2.0%
宍粟市	11	1.7%
加東市	10	1.5%
西脇市	10	1.5%
揖保郡	10	1.5%
佐用郡	9	1.4%
養父市	8	1.2%
朝来市	7	1.1%
洲本市	7	1.1%
篠山市	6	0.9%
加西市	5	0.8%
美方郡	5	0.8%
多可郡	4	0.6%
神崎郡	4	0.6%
相生市	4	0.6%
赤穂郡	4	0.6%
川辺郡	3	0.5%
赤穂市	2	0.3%
その他	4	0.6%
無回答	2	0.3%



表1-2 在籍児童数について

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
50人以下	244	36.6%
51～100人	180	27.0%
101～200人	198	29.7%
201～300人	30	4.5%
300人以上	12	1.8%
無回答	2	0.3%

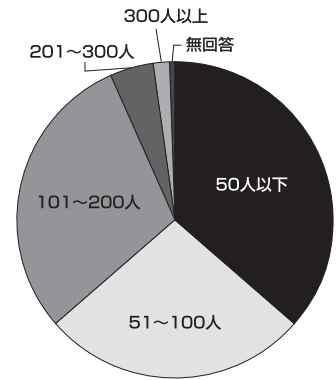


表1-3 施設の種類

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
認定こども園	153	23.0%
認可保育所	204	30.6%
小規模保育所	6	0.9%
認可外保育所	152	22.8%
幼稚園	124	18.6%
その他	22	3.3%
無回答	5	0.8%

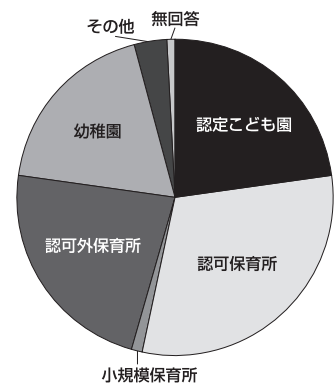


表1-4 嘱託医(園医)の専門科について

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
小児科	314	47.1%
内科	260	39.0%
その他	69	10.4%
無回答	23	3.5%

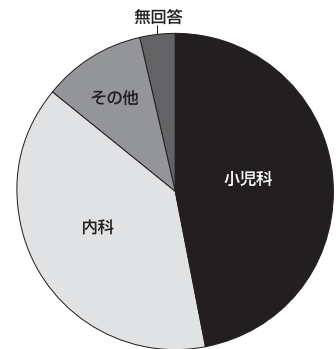


表1-5 年間の出務回数

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
1回	79	11.9%
2回	440	66.1%
3回	43	6.5%
4回	26	3.9%
5～9回	13	2.0%
10～19回	5	0.8%
20回以上	3	0.5%
無回答	57	8.6%

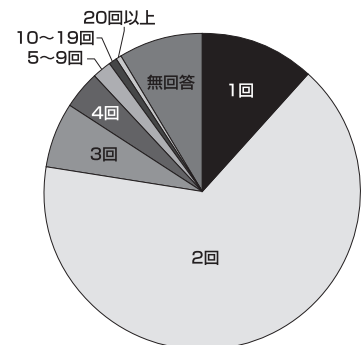


表1-6 嘱託医(園医)はどのように探されましたか (複数回答もカウント)

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
医師会から紹介	174	26.1%
独自で探した	232	34.8%
その他	229	34.4%
無回答	44	6.6%

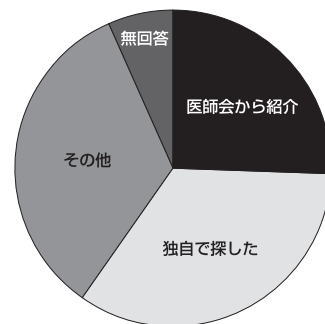


表1-7 嘱託医との契約

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率	順位
嘱託医とのみ交わしている	319	47.9%	1
特に交わしていない	68	10.2%	2
医師会もまじえ交わしている	50	7.5%	3
医師会と嘱託医の三者で交わしている	43	6.5%	4
その他	137	20.6%	-
無回答	186	27.9%	-

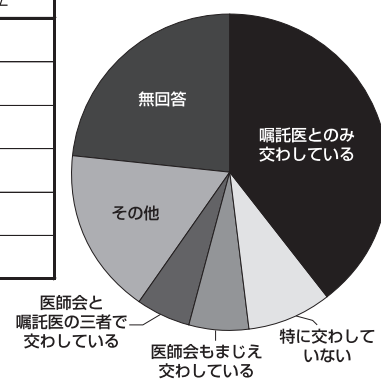


表1-8 嘱託医(園医)に委託している業務について

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率	順位
入所(園)後の定期健康診断	600	90.1%	1
救急・急病時や感染症発生時の相談	394	59.2%	2
入所(園)時の健康診断	248	37.2%	3
保育施設での健康管理・環境衛生管理についての助言・指導	222	33.3%	4
病気や事故の予防についての助言・指導	188	28.2%	5
親への健康教育	28	4.2%	6
その他	12	1.8%	-

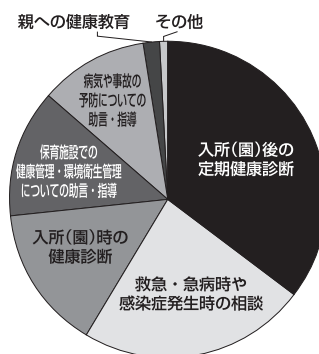


表1-9 救急・急病時の嘱託医の対応

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率	順位
電話で助言してくれる	428	64.3%	1
診療所につれてくるように指示される	217	32.6%	2
保育施設に来てくれる	37	5.6%	3
対応してもらえない	27	4.1%	4
その他	85	12.8%	-

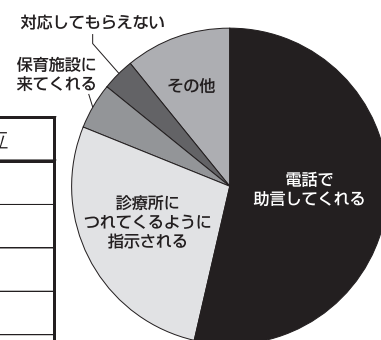


表1-10 看護師（准看護師、保健師を含む）の配置

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
いる	104	15.6%
いない	561	84.2%
無回答	1	0.2%

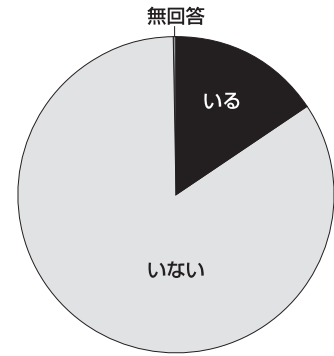


表1-11 看護師がいる場合の出務回数

回答総数： 104

選択肢	回答数	回答率
常駐している	71	68.3%
週に数日いる	26	25.0%
毎日巡回している	1	1.0%
週に数回巡回している	0	0.0%
その他	6	5.8%
無回答	0	0.0%

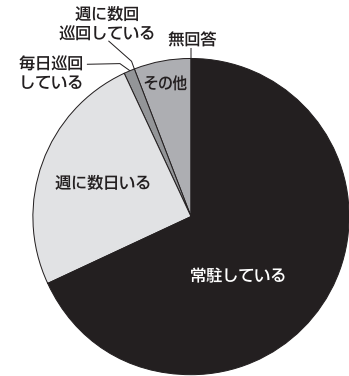


表1-12 看護師に依頼している業務

回答総数： 104

選択肢	回答数	回答率	順位
救急・急病時の対応	96	92.3%	1
軽微な疾患・けがへの対応	95	91.3%	2
子どもの健康観察	90	86.5%	3
感染症発生時の相談	89	85.6%	4
病気や事故の予防についての助言	83	79.8%	5
保護者への健康教育	47	45.2%	6
その他	28	26.9%	-

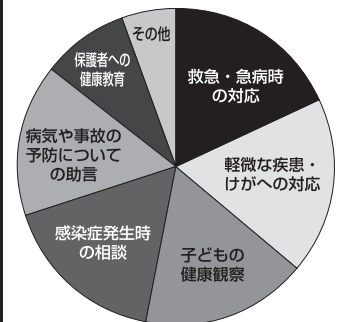


表1-13 家庭における子どもの健康状態の把握方法 (複数回答あり)

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
毎朝、保護者から直接話を聞く	552	82.9%
連絡手帳などを書いてきてもらう	545	81.8%
その他	57	8.6%

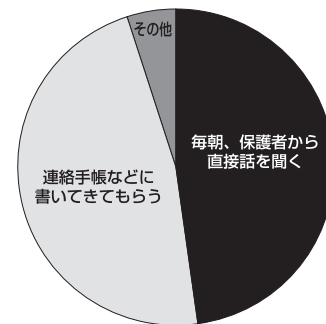


表1-14 健康観察で軽い異常があった場合の対応 (複数回答あり)

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
すぐに保護者に連絡する	286	42.9%
そのまま様子を見る	305	45.8%
保護者が迎えに来た時にそのことを伝える	370	55.6%
連絡帳等を書く	169	25.4%

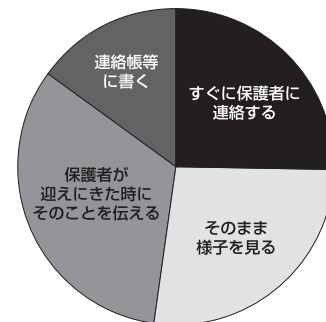


表1-15 急病時の対応について (複数回答あり)

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
保護者にすぐに迎えに来るように連絡する	381	57.2%
保護者に連絡するが、その後の対応は相談する	341	51.2%
その他	14	2.1%

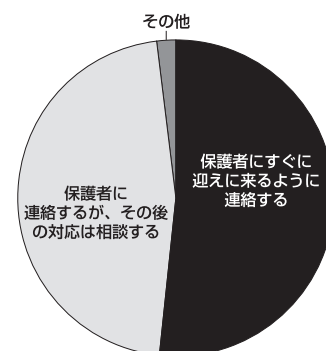


表1-16 医師から処方されている薬に対応しているか

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
保育施設では使用しない	120	18.0%
保育施設でも使用している	519	77.9%
その他	9	1.4%

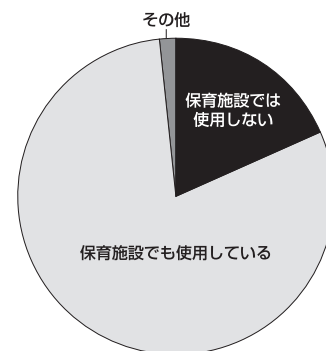


表1-17 投与している薬の種類は

回答総数： 519

選択肢	回答数	回答率
飲み薬	469	90.4%
塗り薬	433	83.4%
坐薬	157	30.3%

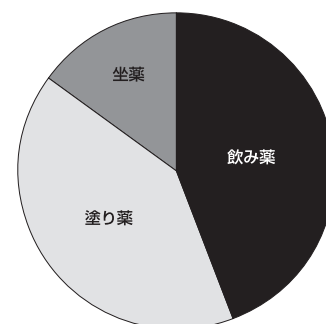


表 1 - 1 8 指示書は必要ですか

回答総数： 519

選択肢	回答数	回答率
必要	412	79.4%
不要	47	9.1%
無回答	60	11.6%

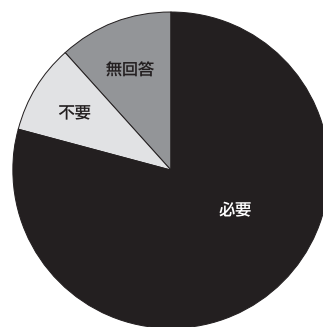


表 1 - 1 9 食物アレルギーの児童への対応

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
対応できない	31	4.7%
対応している	629	94.4%
無回答	6	0.9%

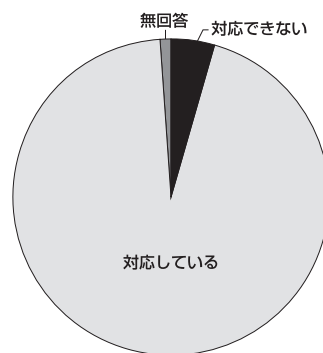


表 1 - 2 0 食物アレルギーに対応している内容

回答総数： 629

選択肢	回答数	回答率
食事制限が可能	512	81.4%
エピペン講習受講	325	48.8%
その他	75	11.3%

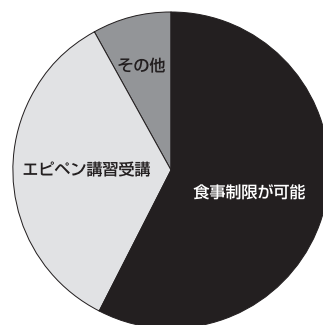


表 1 - 2 1 急病時に対応できる嘱託医以外の医療機関がありますか

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
ある	307	46.1%
ない	337	50.6%
無回答	22	3.3%

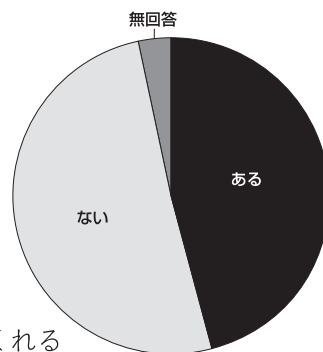
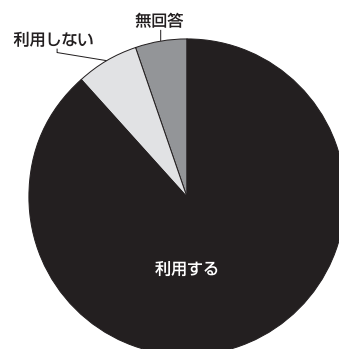


表 1 - 2 2 急病時に相談する医療機関を地域の医師会が前もって紹介してくれる制度があれば利用しますか

回答総数： 666

選択肢	回答数	回答率
利用する	589	88.4%
利用しない	43	6.5%
無回答	34	5.1%



報告 2 嘱託医（園医）への保育施設出務に関するアンケート調査

はじめに

平成30年に保育所保育指針が改正され、保育施設における嘱託医・園医（以後嘱託医）と保育士をはじめとする多職種との連携はますます重要となってきた。今年度、兵庫県医師会乳幼児保健委員会は、保育施設の嘱託医と保育施設に勤める多職種との連携についての実態を把握し、保育施設における児童の健康増進のために医師会がどう関わればよいのかを検討するため、兵庫県医師会に所属する保育施設の内科系嘱託医を対象にアンケート調査したので報告する。

対象及び方法

対象は兵庫県医師会に所属する小児科標榜医667件（全数）、内科標榜医400件（抽出）合わせて1,067医療機関である。兵庫県医師会より質問用紙（添付資料4）を配布し、FAXにて回答していただいた。

結 果

482医療機関から FAX による回答を得た（回収率45%）。そのうち保育施設の嘱託医は276医療機関で、兵庫県のほぼすべての医師会から回答を得た。（表 2-1）

1) 嘱託医について（表 2-2、2-3）

専門科は小児科医が56.5%、内科医が42%であった。年齢では、60歳代が44.2%と一番多かった。

2) 保育施設の種別（認定こども園、認可保育所、小規模保育所、認可外保育所、幼稚園）の検討

(1) 認定こども園（表 2-4-1、表 2-4-2）

1施設のみ嘱託が一番多く82件70.7%であったが4施設受け持っている嘱託医が5名おられた。出務回数は2回/年が52.2%と一番多かったが、年20回以上出務している嘱託医は3名であった。

(2) 認定保育所（表 2-5-1、表 2-5-2）

1施設のみ嘱託が108件67.5%と一番多かったが、5施設以上担当されている嘱託医が2名おられた。出務回数は2回/年が59.7%であった。

(3) 小規模保育所（表 2-6-1、表 2-6-2）

1施設のみ嘱託が32件68.1%と一番多かった。出務回数は2回/年が74.4%と一番多かった。

(4) 認可外保育所（表 2-7-1、表 2-7-2）

1 施設のみで 27 件 75% だった。出務回数は 2 回／年が 78.8% だった。

(5) 幼稚園（表 2-8-1、表 2-8-2）

1 施設の嘱託が 84 件 74.3% で、出務回数は 2 回／年が 42.9% だった。

以上より 1 嘱託医が受け持つ平均施設数は、1.7 か所で、平均出務回数は 1.7 日だった。

3) 嘱託医になった経緯（複数回答あり）（表 2-9）

医師会からの紹介が 76.1%、施設から直接の依頼を受けたのが 52.2% だった。

4) 依頼業務について（表 2-10）

施設から依頼されている業務で 1 番多かったのが入所後の定期健康診断 98.2% で、次いで救急・急病時や感染症発生時の相談 71.4%、入所時の健康診断 59.4%、健康管理・環境衛生管理についての助言・指導が 50.4%、病気や事故予防についての助言・指導 46.4% と続き、親への健康教育は 7.6% だった。

5) 医療的ケア児の受け入れ施設について（表 2-11-1、表 2-11-2、表 2-11-3）

出務先が医療的ケア児を受け入れているのは 48 施設 17.4% だった。多くは認定こども園と認可保育所だったが、小規模保育所や認可外保育所でも受け入れている施設があった。出務回数は 2 回／年が 22 名 52.4% だったが、5 回～9 回 3 名、10 回以上 5 名 11.9% 見られた。平均は 5.4 回／年だった。

6) 今後の活動について（表 2-12-1、表 2-12-2）

今後、保育施設で行う業務を増やしたいと考えている医師は 54 名／19.6% だった。その内容については、病気や事故予防についての助言・指導 57.4% で、以後親への健康教育 55.6%、健康管理・環境衛生管理 53.7%、救急・急病時や感染症発生時の相談 38.9% だった。

7) 保育施設との関係についての意識調査（表 2-13）

保育施設との関係は良好であるとの回答は 94.9% で、もっと関わりたいと考えている嘱託医が 1.8% おられた。

保育施設との関係に不満ある方からは、

- ① 相談や親への健康教育などをもっと依頼してほしい
- ② 年 1 回の出務以外にも児童の相談などがあれば関わっていきたい
- ③ 遠慮なく何でも聞いてほしい
- ④ もっと関わりたいがどのようにすればよいのかわからない

とする意見が見られた。

8) 嘱託医活動について（自由記載）

嘱託医活動について今考えていることを自由記載していただいた。主なものを列記する。

- ① 医療・教育・福祉・行政のお互いが連携し合って子どもの健やかな成長を支援する必要がある

ある

- ②嘱託医対象の研修機会を増やしてほしい
- ③保育施設は嘱託医に相談することを遠慮する傾向にあるので、できるだけ相談しやすい気分を作るようにしている
- ④感染症の出席停止や登園許可基準・食物アレルギーの対応などの書式の統一などについて、保育施設管理者への勉強会や巡回講習会を開催してほしい
- ⑤もっと施設に関わりたいが診察に追われ時間がない
- ⑥施設により発達障害や園児の健康問題に対する配慮や理解度の温度差がある児童心理士の配置など行政に求めることが必要
- ⑦企業主導型の保育施設を県医師会でコントロールしてほしい
- ⑧園医活動を統括して行政などに意見を出せる組織が必要
幼稚園、小学校は教育委員会へ医師会の学校保健委員会が意見を言えるが、園医にはそのような組織がない

考 察

現在わが国は少子化社会を迎えているが、今後働き方改革などにより保育児童の増加が見込まれる。保育施設の嘱託医は健診業務や衛生指導以外にも、地域の子どもの保育・保健の専門家として児童のヘルスプロモーション指導などを行うことが期待されているが、これらが実効ある業務となるためには、保育士のみならず保育施設における他業種とより良い連携を持つことが必要となってくる。そのためには嘱託医も保育施設もお互いに相談しやすい関係を構築していく努力が必要である。気軽に声かけできる関係を作っこそ指導も容易になるからであり、日頃より嘱託医と地域の保育施設や、子育てに関わるスタッフとの顔が見える関係作りが望まれる。

今回のアンケート調査では、多くの嘱託医は保育施設との関係は良好と考えているが、一方でもっとより良い関係を作りたいが、保育施設側の遠慮や嘱託医自身の力不足を感じている方々も少なからずおられた。また保育施設の経営のための行政からの応援が必要で、医療面からの保育施設の改善のためには統括する組織が必要であると考えている嘱託医もおられた。これらの問題を解決するために医師会ができることは多いと考える。以上より、乳幼児保健委員会は下記のことを医師会に提案する。

- (1) 研修等や勉強会などで、日頃より嘱託医のみならず医師会は地域の保育協会と連携し、互いの顔が見える関係をつくること
- (2) 保育施設において必要な対応が可能となるような、下記の内容の嘱託医への研修会を開催すること
 - i. 出務に関すること
 - ii. 健診に関すること
 - iii. 発達障害へのアドバイス

- iv. 園内事故に対する対応
- v. 園内感染症対策
- vi. 行政への看護師配置の依頼
- vii. その他、保育に関する医療面の諸問題について

報告 2 嘱託医（園医）への保育施設出務に関するアンケート用紙

兵医発第 1020 号

平成 30 年 12 月 吉日

兵庫県下小児科・内科
標榜医療機関院長 様

兵庫県医師会会長 空地 顕一
兵庫県医師会乳幼児保健委員会委員長 藤田 位

「保育施設等における健康管理」についてのアンケート調査のお願い

平素、本会会務に種々ご高配賜り、誠に有難うございます。

さて、平成 30 年度より保育所保健指針も新たに改正され、保育所において嘱託医（園医）をはじめ多職種との連携がますます重要となってきました。

兵庫県医師会乳幼児保健委員会では、嘱託医（園医）と保育施設との連携を密にするために今後医師会として何をすべきか、また何が必要なのかについて検討を行うため標記アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙中恐縮に存じますが回答用紙全 2 ページにご回答の上、兵庫県医師会業務 1 課乳幼児保健係あて 12 月 25 日（火）までに FAX(078-231-8112)にてご**回報**のほどお願いいたします。

なお、本アンケート調査結果は、施設名、個人名、回答者を特定できない形で本会のホームページに掲載させていただく予定です。

問合せ先

兵庫県医師会業務 1 課乳幼児保健係

神戸市中央区磯上通 6-1-11

電話 078-231-4114

FAX 078-231-8112

担当（影山・仲田・和田）

保育施設の嘱託医(園医)の活動について

* 以下の質問に○印、もしくは記入をお願いします。(平成30年9月1日の時点でお願ひします)

1. 所属医師会について別紙より番号を記入してください。()

2. 専門科について

a. 小児科 b. 内科 c. その他()

3. 年齢について、別紙より番号を記入してください。()

4. 保育施設の嘱託医(園医)ですか？

a. はい ➡ 5. からの質問に回答をお願いいたします。

b. いいえ ➡ 今まで保育施設との対応で困ったことはありますか？
あれば具体的にお書きください。

()

無ければこれで終了です

5. 嘱託医(園医)をされている保育施設とその出務状況(1年間出務回数)についてお聞きします。(複数ある場合はそれぞれの施設数をお書きください)

○印	施設の種類	施設数	年出務回数
a	認定こども園		
b	認可保育所		
c	小規模保育所		
d	認可外保育所		
e	幼稚園		
f	その他()		

6. 嘱託医(園医)に関してお聞きします。

(1) 嘱託医(園医)はどのようにしてなられましたか。(複数回答可)

a. 地元の医師会から紹介された b. 独自に探した

c. 施設・園から直接依頼された

d. その他()

(2) 主な仕事は何ですか？(複数回答可)

a. 入所時の健康診断

b. 入所後の定期健康診断

c. 救急・急病時や感染症発生時の相談

d. 健康管理・環境衛生管理についての助言・指導

e. 病気や事故の予防についての助言・指導

f. 親への健康教育 g. その他()

7. 出務されている施設では医療的ケア児を受け入れていますか？

a. 受け入れていない

b. 受け入れている

ア) その保育施設は？

- ①認定こども園 ②認可保育所 ③小規模保育所 ④認可外保育所 ⑤幼稚園
⑥その他 ()

イ) 医療的ケア児を受け入れている保育施設の嘱託医としてどれくらいの頻度で出務されていますか？

①年 () 回くらい

8. 今後、今保育施設でされている仕事以上の活動をされたいですか？

a. いいえ

b. はい

どのような活動をされたいですか？(複数回答可)

- ①救急・急病時や感染症発生時の相談
②健康管理・環境衛生管理についての助言・指導
③病気や事故の予防についての助言・指導
④親への健康教育
⑤その他 ()

9. 嘱託医(園医)として活動していくうえで保育施設との関係についてお聞きします。

a. 保育施設との関係は良好で特に問題はない。

b. もっとかかわりたいと考えているが、すこし不満である。

具体的にお書きください。

()

10. 本アンケート並びに嘱託医(園医)の活動についてご意見があればお書きください。

()

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。FAX送信をお願いいたします。

兵庫県医師会業務1課 乳幼児保健係宛 FAX:078-231-8112

1. 並びに3.の質問については以下から選択してください。

1. 所属医師会について

1	神戸市	9	三木市	17	たつの市・揖保郡	25	豊岡市
2	尼崎市	10	小野市・加東市	18	相生市	26	美方郡
3	伊丹市	11	加西市	19	赤穂市	27	三田市
4	川西市	12	西脇市多可郡	20	赤穂郡	28	篠山市
5	宝塚市	13	加古川	21	佐用郡	29	丹波市
6	西宮市	14	高砂市	22	宍粟市	30	洲本市
7	芦屋市	15	姫路市	23	朝来市	31	淡路市
8	明石市	16	神崎郡	24	養父市	32	南あわじ市

3. 年齢について

- ① 30～39歳 ② 40～49歳 ③ 50～59歳
④ 60～69歳 ⑤ 70～79歳 ⑥ 80歳以上

表2-1. 所属医師会について

回答総数： 276

選択肢	回答数	回答率
神戸市	66	23.9%
西宮市	17	6.2%
尼崎市	18	6.5%
姫路市	21	7.6%
宝塚市	12	4.3%
伊丹市	14	5.1%
加古川	12	4.3%
明石市	11	4.0%
たつの市・揖保郡	11	4.0%
三木市	9	3.3%
三田市	4	1.4%
川西市	4	1.4%
朝来市	8	2.9%
洲本市	6	2.2%
豊岡市	6	2.2%
南あわじ市	6	2.2%
芦屋市	4	1.4%
高砂市	6	2.2%
赤穂市	4	1.4%
丹波市	4	1.4%
神崎郡	3	1.1%
宍粟市	5	1.8%
小野市・加東市	3	1.1%
加西市	2	0.7%
養父市	3	1.1%
美方郡	3	1.1%
淡路市	3	1.1%
西脇市多可郡	2	0.7%
相生市	1	0.4%
赤穂郡	1	0.4%
佐用郡	3	1.1%
篠山市	2	0.7%
無回答	2	0.7%



表2-2 専門科について

回答総数： 276

選択肢	回答数	回答率
小児科	156	56.5%
内科	116	42.0%
その他	4	1.4%
無回答	0	0.0%

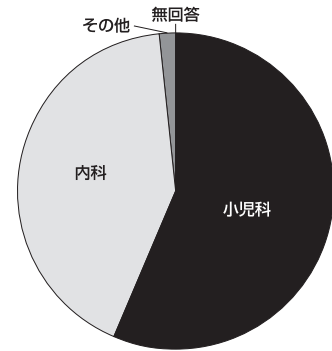


表2-3 年齢

回答総数： 276

選択肢	回答数	回答率
30～39歳	2	0.7%
40～49歳	38	13.8%
50～59歳	58	21.0%
60～69歳	122	44.2%
70～79歳	45	16.3%
80歳以上	8	2.9%
無回答	3	1.1%

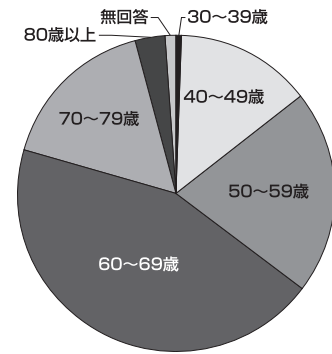


表2-4-1 嘱託医となっている認定こども園の施設数

【施設数】

回答総数： 116

選択肢	回答数	回答率
1	82	70.7%
2	24	20.7%
3	5	4.3%
4	5	4.3%
5以上	0	0.0%

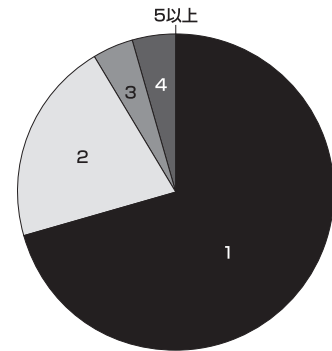


表2-4-2 その出務回数

【年出務回数】

回答総数： 115

選択肢	回答数	回答率
1回	3	2.6%
2回	60	52.2%
3回	19	16.5%
4回	14	12.2%
5～9回	11	9.6%
10～19回	7	6.1%
20回以上	3	2.6%

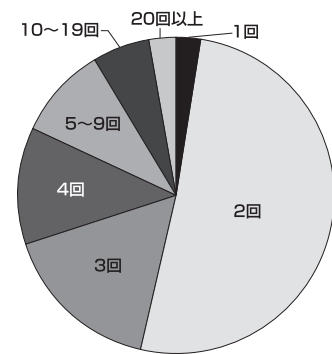


表2-5-1 嘱託医となっている認定保育所の施設数

【施設数】 回答総数： 160

選択肢	回答数	回答率
1	108	67.5%
2	35	21.9%
3	8	5.0%
4	7	4.4%
5以上	2	1.3%

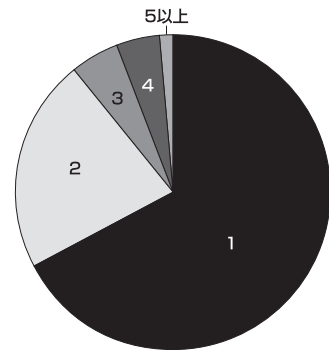


表2-5-2 その出務回数

回答総数： 159

選択肢	回答数	回答率
1回	1	0.6%
2回	95	59.7%
3回	15	9.4%
4回	16	10.1%
5~9回	13	8.2%
10~19回	18	11.3%
20回以上	3	1.9%

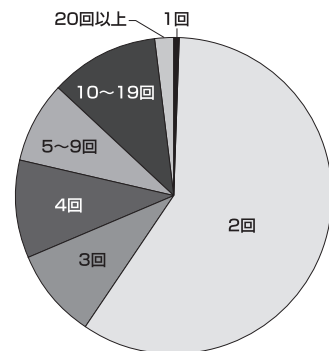


表2-6-1 嘱託医となっている小規模保育所の施設数

【施設数】 回答総数： 47

選択肢	回答数	回答率
1	32	68.1%
2	8	17.0%
3	7	14.9%
4	0	0.0%
5以上	0	0.0%

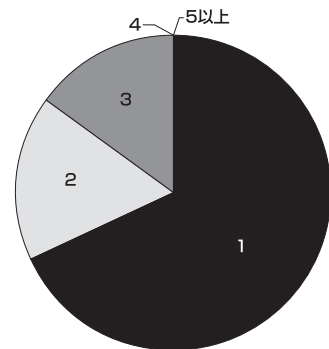


表2-6-2 その出務回数

回答総数： 43

選択肢	回答数	回答率
1回	1	2.3%
2回	32	74.4%
3回	2	4.7%
4回	3	7.0%
5~9回	4	9.3%
10~19回	0	0.0%
20回以上	1	2.3%

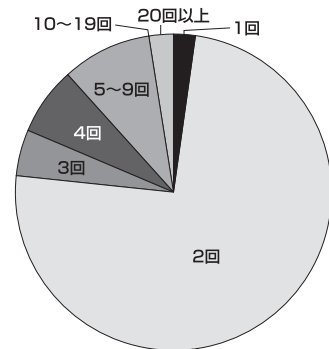


表2-7-1 嘱託医となっている認可外保育所の施設数

【施設数】		回答総数：	36
選択肢	回答数	回答率	
1	27	75.0%	
2	8	22.2%	
3	0	0.0%	
4	1	2.8%	
5以上	0	0.0%	

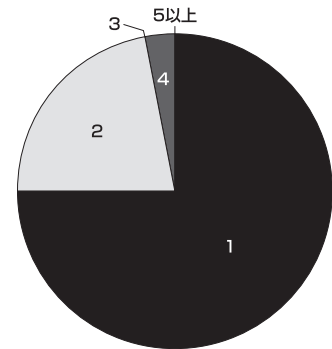


表2-7-2 その出務回数

		回答総数：	33
選択肢	回答数	回答率	
1回	2	6.1%	
2回	26	78.8%	
3回	1	3.0%	
4回	4	12.1%	
5~9回	0	0.0%	
10~19回	1	3.0%	
20回以上	0	0.0%	

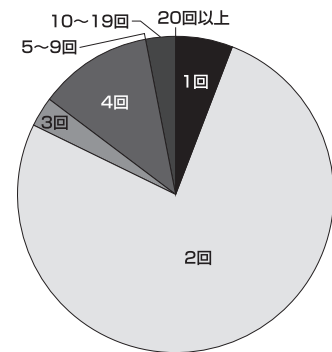


表2-8-1 園医となっている幼稚園の施設数

【施設数】		回答総数：	113
選択肢	回答数	回答率	
1	84	74.3%	
2	28	24.8%	
3	1	0.9%	
4	0	0.0%	
5以上	0	0.0%	

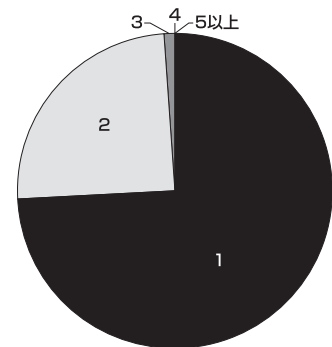


表2-8-2 その出務回数

		回答総数：	112
選択肢	回答数	回答率	
1回	33	29.5%	
2回	48	42.9%	
3回	16	14.3%	
4回	10	8.9%	
5~9回	7	6.3%	
10~19回	0	0.0%	
20回以上	0	0.0%	

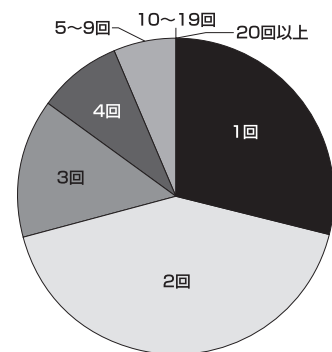


表 2-9 嘱託医となった経緯

回答総数： 276

選択肢	回答数	回答率
医師会から紹介	210	76.1%
独自で探した	0	0.0%
施設・園から直接依頼	144	52.2%
その他	21	7.6%

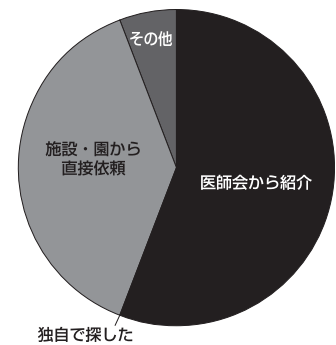


表 2-10 依頼業務

回答総数： 276

選択肢	回答数	回答率	順位
入所後の定期健康診断	271	98.2%	1
救急・急病時や感染症発生時の相談	197	71.4%	2
入所時の健康診断	164	59.4%	3
健康管理・環境衛生管理についての助言・指導	139	50.4%	4
病気や事故の予防についての助言・指導	128	46.4%	5
親への健康教育	21	7.6%	6
その他	6	2.2%	-

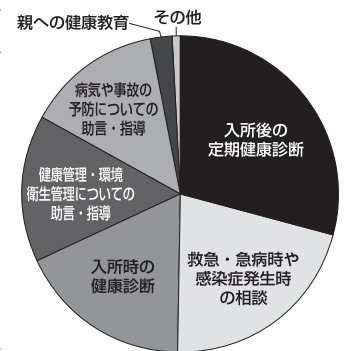


表 2-11-1 医療的ケア児を受け入れている施設について

回答総数： 276

選択肢	回答数	回答率
受け入れている	48	17.4%
受け入っていない	221	80.1%
無回答	7	2.5%

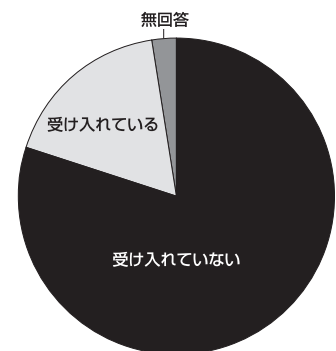


表 2-11-2 その施設について

回答総数： 48

選択肢	回答数	回答率
認定こども園	22	45.8%
認可保育所	14	29.2%
小規模保育所	1	2.1%
認可外保育所	1	2.1%
幼稚園	9	18.8%
その他	1	2.1%

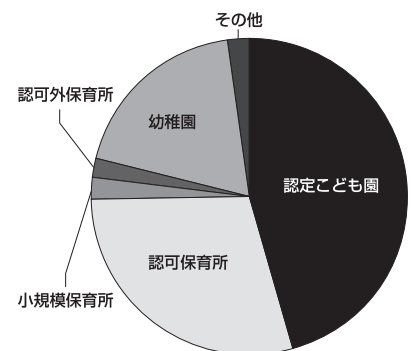


表2-11-3 その出務回数

回答総数： 42

選択肢	回答数	回答率
1回	0	0.0%
2回	0	0.0%
3回	0	0.0%
4回	0	0.0%
5~9回	3	7.1%
10回以上	5	11.9%

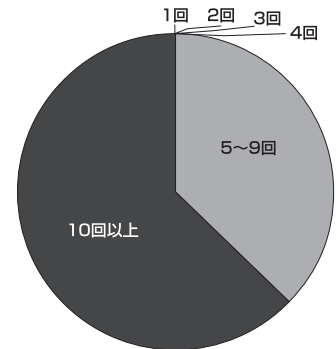


表2-12-1 今後、今以上の活動をしたいですか？

回答総数： 276

選択肢	回答数	回答率
いいえ	217	78.6%
はい	54	19.6%
無回答	5	1.8%

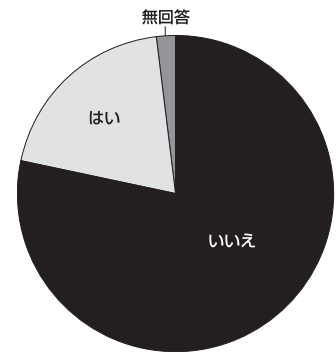


表2-12-2 その活動したい内容は

回答総数： 54

選択肢	回答数	回答率	順位
病気や事故の予防についての助言・指導	31	57.4%	1
親への健康教育	30	55.6%	2
健康管理・環境衛生管理についての助言・指導	29	53.7%	3
救急・急病時や感染症発生時の相談	21	38.9%	4
その他	2	3.7%	-

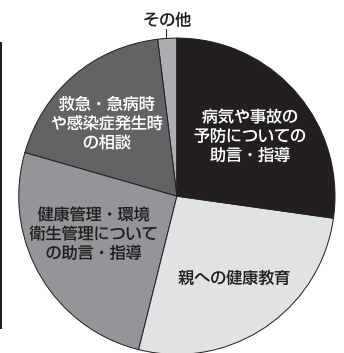


表2-13 保育施設との関係は？

回答総数： 276

選択肢	回答数	回答率
保育施設との関係は良好で特に問題はない	262	94.9%
もっと関わりたい、不満である	9	3.3%
無回答	5	1.8%

